

介護労働者の精神的緊張とその影響に関する研究

平成 11 年度報告書

平成 12 年 4 月から「介護保険制度」の施行により、介護労働力の質・量両面にわたる確保や介護労働者の質的向上・環境改善等の取り組みが喫緊の課題となっている。しかしながら、介護を取り巻く労働環境は必ずしも整備されていない状況にある。

本研究は、介護分野への就労の妨げとなっているもののうち、介護職のストレスに着目し、雇用形態や就労場所による差異、問題点等を明らかにした。なお本研究は、3 ヶ年計画の初年度であり、文献調査及びヒアリング調査を行い、ストレス要因を抽出・整理をした。

研究委員会メンバー

(主 査)長 田 久 雄	東京都立保健科学大学 教授
(委 員)朝 日 雅 也	埼玉県立大学保健医療福祉学部 講師
奥 住 文 明	頭脳開発(株) 代表取締役
古 郷 俊 朗	(株)明治生命 F S 研究所 主任研究員
矢 吹 貴 夫	(株)明治生命 F S 研究所 研究員
(事務局)中 島 徹	(財)雇用開発センター 常務理事
川 上 方 満	(財)雇用開発センター 研究調査部長
田 島 博 実	(財)雇用開発センター 研究調査課長

目 次

はじめに
第 1 章 研究概要等
第 2 章 ストレスの仕組み
第 3 章 介護職を取り巻く環境
第 4 章 平成 11 年度研究実施要綱及び調査結果
おわりに
資料編

ヒアリング調査の対象及び内容

調査対象	： 施設管理者、施設介護職 各 6 名、計 12 名 居宅管理者、居宅介護職 各 5 名、計 10 名
調査内容	： 管理者…①管理者自身が施設内で把握している介護職のストレスサー、②管理者自身は施設内で把握していないが、情報として見聞きした介護職のストレスサー、③管理者自身が想定、予測する介護職のストレスサー

介護職…①介護職自身のストレス、②ヒアリング対象者自身のストレスではないが、同僚・介護職の友人等から見聞きしたストレス